

第21回（2026年度）耐火物研究助成金の募集（A及びB方式）

2025年10月1日

耐火物協会
耐火物技術協会

耐火物協会・耐火物技術協会では、耐火物関連分野の研究振興と若手研究者育成のために、大学・工業高等専門学校・公的研究機関の研究者に対して、研究費の助成を行っております。応募は、耐火物に関する自由テーマでの募集（A方式）と定められた研究テーマに対する研究を募集する方式（B方式）の2方式で耐火物研究助成金の募集を行います。応募はA方式またはB方式の何れか1方式に限らせていただきます。なお、審査によりB方式への応募テーマをA方式での助成に変更して推薦する場合があります。その場合、応募者の意向を尊重します。各応募要領に従ってご応募下さい。

応募要領

1. 方式と助成内容

方式	研究テーマ	期間	交付額(原則)
A	耐火物に関するテーマであれば自由	1年	50万円
B	<p>「脱炭素、循環社会の構築に向けて耐火材料とセラミックスが貢献できる領域の研究」</p> <p>例* 高炉水素還元などでの高水素、水蒸気下での耐火材料の反応速度、熱物性の測定 水素燃焼、アンモニア燃焼が耐火物に与える影響 耐火材料の高度リサイクルのための高度粉碎、分離技術 LCA (Life Cycle Assessment) の側面からの検討 リサイクル原料が不定形耐火物の施工性及び特性に与える影響に関する研究 塩基性れんがのリサイクルに関する研究 (大型)耐火材料・セラミックスの低温焼成、高速焼成 水素、アンモニア等コストダウンや規格化に関わる技術開発 水素、アンモニアバーナー普及に関わる技術開発 耐火物の熱的特性評価方法の改善 高温、高水素雰囲気下でのセラミックス（耐火物含む）の熱物性の測定 断熱技術</p> <p>*これらの例に限定しない。</p>	2年	100万円

カーボンニュートラルは全世界が対処すべき課題です。

B方式では2025年度と同様のテーマで研究を募集します。

2. 資格 日本の大学、工業高等専門学校に所属し日本国内で研究に従事する教授、准教授、講師、助教、または公的研究機関に所属し日本国内で研究に従事する研究員とする。

3. 研究期間 A方式…1年、B方式…2年とする。

4. 助成金額 A方式…申請1件につき原則として50万円とし、採択件数は年間6件程度とする。

B方式…申請1件につき原則として100万円とし、採択件数は年間1件程度とする。

5. 申請方法 指定の助成金申請書を提出のこと。

*申請書は、耐火物技術協会ホームページ <https://www.tari.org> →研究助成金→申請書 から2026年申請書（A方式/B方式兼用）をダウンロードするか、または下記問い合わせ連絡先に請求すること。

*申請書に必要事項を記入し、E-mailまたは郵送にて申し込むこと。

*申請書以外の添付書類はつけない。

*一人で複数の応募はできない。また、B方式で応募した場合はA方式の応募はできない。

*B 方式での応募の際は A 方式での助成への変更の可否を明記(申請書に記入)する。

6. 応募期間 2025 年 10 月 1 日から 11 月 28 日 (必着)。期日を過ぎて到着したものは受け付けない。
7. 審査方法 耐火物研究助成金選考委員会が審査選考する。

B 方式応募テーマに対し A 方式での助成として採択する場合がある。その場合応募時の意向を尊重する。

8. 結果通知 2026 年 2 月初旬頃、申請者にそれぞれ結果を通知する。
(耐火物誌、耐火物技術協会ホームページ上に採択テーマを掲載する)
9. 助成金の交付 2026 年 4 月以降、それぞれ全額一括交付する。

10. 交付条件

- 1) 助成研究成果は、A 方式…2027 年 11 月開催の UNITECR2027、または 2028 年 4 月開催の耐火物技術協会の年次学術講演会（2027 年度は開催無し）に必ず発表すること。B 方式…2028 年 4 月開催の耐火物技術協会の年次学術講演会に必ず発表すること。年次学術講演会の案内は、耐火物誌の前年 11 月号に掲載する。発表の際には、本助成金を受けた旨を明記すること。
- 2) 助成研究の成果は、A 方式…2029 年 3 月末までに、B 方式…2030 年 3 月末までに、耐火物誌へ必ず論文または技術報告として投稿すること。投稿の際には、本助成金を受けた旨を明記すること。
- 3) 助成金の用途は研究課題の範囲内であれば特に拘束はしない。終了後提出する報告書は、耐火物技術協会ホームページ <https://www.tarj.org> → 研究助成金一報告書 から 2026 年成果報告書 (A または B 方式) をダウンロードし、A 方式…2027 年 3 月末までに、B 方式…2028 年 3 月末までに必ず提出すること。（学術講演会発表予定、耐火物誌投稿予定を必ず記入すること）
- 4) 研究成果並びにそれに関する特許などの権利は研究者または研究機関に帰属する。

11. 応募書類・内容の取り扱い

応募書類は返却しない。また応募した内容は公開しない。選考の過程で、詳細資料の提示あるいは詳細説明を依頼する場合がある。

12. 問い合わせ・申込先

耐火物技術協会 事務局 奥橋 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-3-13 ニューギンザビル
TEL 03-3572-0705 FAX 03-3572-0175 E-mail okuhashi@tarj.org URL <https://www.tarj.org>

第21回 (2026年度) 耐火物研究助成金申請書

申請日 2025年 月 日

1. 助成金の方式選択 (A方式またはB方式を選択)

A方式

申請研究テーマ

テーマ分類 (以下のa~iから選んで、○で囲んで下さい)

- a 热力学特性(1)耐火物内の反応 b 热力学特性(2)スラグ・金属との反応 c 热力学特性(3)その他
 d 热応力解析 e 機械的特性 f 伝热解析 g 不定形耐火物：混練から乾燥 h 基礎・先端・原料
 i その他 ()

B方式

<研究主テーマ>

「脱炭素、循環社会の構築に向けて耐火材料とセラミックスが貢献できる領域の研究」

申請研究テーマ

※ 審査により A方式での助成に変更して推薦することを承諾しますか。: 可・不可

2. 申請者

氏名 (ふりがな) _____ ()

生年月日 _____ 年 月 日 生

所属機関 _____

所属部署 _____

役職・専門分野 _____

郵便番号 _____

所在地 _____

連絡先 TEL _____ FAX _____

E-mail _____

3. 申請金額 _____ 円

4. 研究協力者

氏名	所属機関名	所属部署名	役職名

5. 研究概要（できる限り具体的に）

目的

背景

実験計画

期待される成果

6. 申請者の研究業績（主な業績のみ）

7. 他機関からの奨励金、奨学金、助成金交付があれば記入（申請中のものも記入のこと）

機関名	研究題目	金額

申請書は以下の問い合わせ先に請求、または耐火物技術協会のホームページからダウンロードして下さい。

耐火物技術協会 事務局 奥橋

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-3-13 ニューギンザビル

TEL 03-3572-0705 FAX 03-3572-0175 E-mail okuhashi@tarj.org

ホームページ <http://www.tarj.org/>

テーマ案例の詳細はホームページ参照、または上記問い合わせ先に請求して下さい。